

飯伊 産業経済動向

No.474 2018/9
(30. 10. 25 発行)



http:// www. iidashinkin. co. jp
〒395-0044 飯田市本町1-2
TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132

飯伊地区主要経済指標

| 主要指標 | | 実数 | | 前月比 | | 前年同月比 | |
|--|--------|-----------|----|-------------|--------|---------------|--------|
| 手形交換高 (飯田手形交換所扱) | 枚数 | 2,790 | 枚 | △ | 19.2 % | △ | 10.7 % |
| | 金額 | 4,207,557 | 千円 | △ | 12.0 % | △ | 7.6 % |
| うち不渡発生状況 | 枚数 | 0 | 枚 | (前月 0 枚) | | (前年同月 0 枚) | |
| | 金額 | 0 | 千円 | (前月 0 千円) | | (前年同月 0 千円) | |
| 倒産件数 (負債額1千万円以上) | 県内 | 8 | 件 | (前月 6 件) | | (前年同月 6 件) | |
| | 飯伊 | 2 | 件 | (前月 1 件) | | (前年同月 1 件) | |
| 住宅着工戸数 (飯田市、下伊那郡 総数)(8月) | | 46 | 戸 | | 76.9 % | △ | 33.3 % |
| 有効求人倍率(パートを含む実数) (ハローワーク飯田管内)(8月) | | 1.70 | 倍 | (前月 1.68 倍) | | (前年同月 1.65 倍) | |
| 自動車新規登録台数 (松本事務所管内) | 新車 | 2,623 | 台 | | 24.3 % | △ | 0.6 % |
| | 中古車 | 589 | 台 | △ | 8.3 % | △ | 3.1 % |
| 軽自動車新規登録台数 (軽自動車協会連合会長野事務所) (8月) | 新車 | 3,457 | 台 | △ | 14.8 % | | 8.6 % |
| | 中古車 | 739 | 台 | △ | 24.6 % | △ | 11.3 % |
| 中央道利用台数 (飯田インター分) | 入 | 114,633 | 台 | △ | 11.7 % | △ | 0.9 % |
| | 出 | 115,616 | 台 | △ | 11.3 % | △ | 0.7 % |
| 中央道利用台数 (松川インター分) | 入 | 81,446 | 台 | △ | 8.1 % | △ | 1.6 % |
| | 出 | 78,936 | 台 | △ | 6.5 % | △ | 2.7 % |
| 中央道利用台数 (園原インター分) | 入 | 13,677 | 台 | △ | 35.9 % | △ | 8.9 % |
| | 出 | 13,813 | 台 | △ | 33.6 % | △ | 8.1 % |
| 中央道利用台数 (飯田山本インター分) | 入 | 42,021 | 台 | △ | 24.7 % | △ | 5.2 % |
| | 出 | 42,621 | 台 | △ | 25.2 % | △ | 3.2 % |
| 信用保証協会 新規保証件数 (飯田支店管内) | | 148 | 件 | | 0.7 % | △ | 17.3 % |
| 信用保証協会 代位弁済件数 (飯田支店管内) | | 3 | 件 | (前月 2 件) | | (前年同月 4 件) | |
| 高速バス乗車人数 | 飯田～新宿 | 27,335 | 人 | △ | 25.6 % | | 0.6 % |
| | 飯田～名古屋 | 18,457 | 人 | △ | 19.0 % | △ | 0.5 % |
| | 飯田～長野 | 9,087 | 人 | △ | 10.3 % | △ | 3.8 % |
| 市内循環バス乗車人数 | 左回り | 3,202 | 人 | △ | 15.4 % | △ | 6.5 % |
| | 右回り | 3,165 | 人 | △ | 17.5 % | △ | 6.1 % |

◆ 本誌内容は飯田信用金庫ホームページ (<http://www.iidashinkin.co.jp>) に全文掲載しています ◆

本誌は、当金庫が信頼できると考えるデータに基づき作成されておりますが、データ、記述の正確性、完全性を保証するものではありません。御利用に当たってはご自身の判断によってください。

しんきんは環境にやさしい取り組みを地元のみなさまとともに行っています。



100%植物性インキ
[リチウム]100% を使用しました。

再生紙を
使用しています

概況

製造業

9月の製造業の業況判断指数(DI)は、マイナス19.2で、前月から10.4ポイント上昇。翌月予測もマイナス7.7で、前月から7.1ポイント上昇している。

電気、精密機械器具の販売は、前月比横ばい～やや増加。一部に受注残高の前年比がやや減少した業者も見られたが、こうした業者でも景況感の悪化には至っていない。半導体、液晶製造装置向け部品の生産は、前月比、前年比とも減少。「半導体市場は冷え込んでいる」など、景況感が悪化した業者が多い。産業機器や医療機器向け部品の受注、販売の前月比は、一部に増加との声も聞かれたものの、減少～横ばいとの声が多い。もっとも、先行きの生産増加を見込む声が少ないこともあって、景況感が悪化した業者は少ない。建築用金属製品の売上は、前月比やや減少も、先行きは生産の増加を見込んでいるとの声が寄せられた。自動車向け部品の販売は、前月比やや減少も、前年比増加との声。小型電磁機器の販売は、前月比やや減少～横ばい、総じて景況感に動きは見られない。一部に、先行きやや弱含んでいるとの声も。FA関連モーターの販売は、前月比やや減少、景況感も悪化との声。先行きもこうした傾向が続くことを警戒しているという。電気、電子製品の生産は、前月比概ね横ばい、景況感も横ばいとの声。

地場産業

半生菓子、菓子原料等の売上の前月比は、やや減少。一部に前年比増加との声も聞かれたが、こうした業者でも「菓子はチョコレートなど一部増加しているが、その他は低迷している」などの声が聞かれたほか、「やや悪い」など景況感が悪化した業者も見られた。水引製品の販売の前月比は、業者により増減分かれる。減少したとする業者からも「9月を迎え徐々に受注は増えている」などの声が寄せられたほか、「祝儀用品一般は一服したが、正月飾りの注文は順調」などの声が寄せられ、景況感が悪化した業者は見られない。漬物の販売は、前月比やや減少との声。

建設業

9月の建設業の景況DIは、マイナス7.1で、前月から21.5ポイント上昇。翌月予測DIは、マイナス7.7で、前月から7.7ポイント下降した。

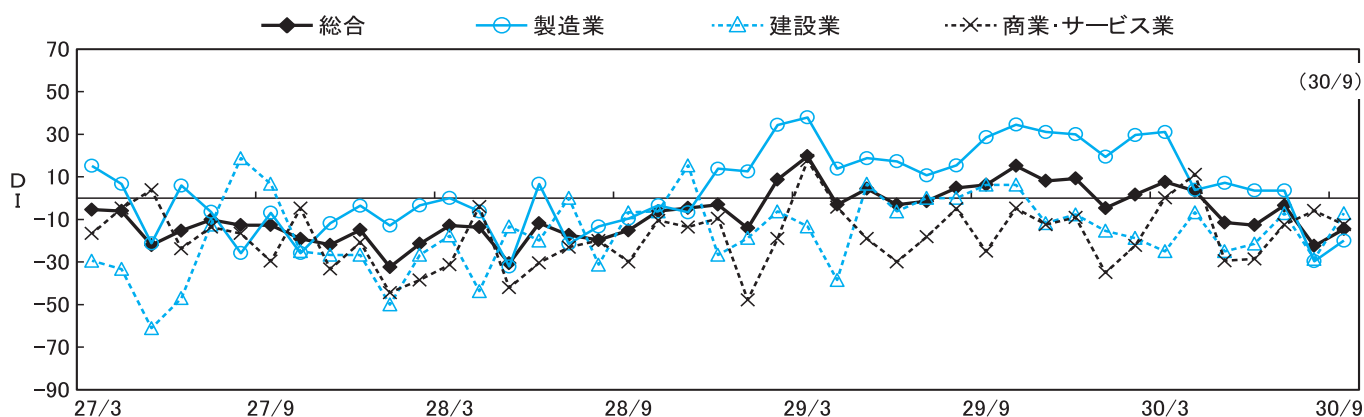
当地区における当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、10月15日調査時点で約16.3億円となっている。当月の調査先企業の受注残高の前月比は、「官庁発注物件の応札者が減少してきており、各社とも受注量は増加している模様」などの声も少なからず聞かれたが、「今月の受注は予定通りだったが、受注残高の前年比は今月も減少。公共事業の発注は例年通り低調」など、やや減少～横ばいとの声が多い。

当地区の8月の住宅着工戸数は46戸。前月比77%増加も、前年比は33%減少している。当月の調査先企業の受注残高は、前月比横ばい～増加。一部に前年比増加との声も。景況感が好転した業者は見られなかったものの、「リフォームや修繕工事は多い」などの声。

商業・サービス業

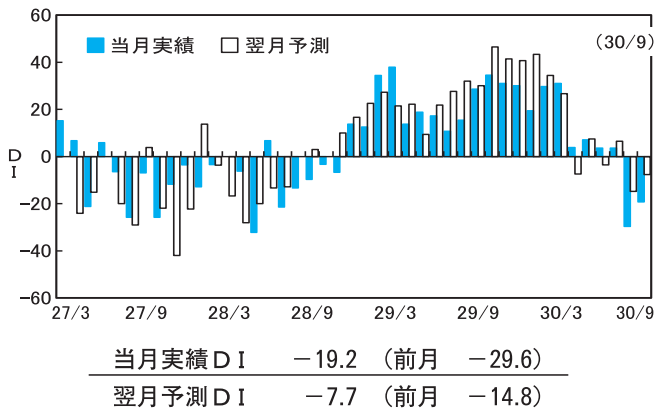
9月の商業・サービス業の景況DIは、マイナス12.5と、前月より6.6ポイント下降。翌月予測DIも、マイナス13.3で、前月より6.6ポイント下降している。食料品の売上は、「前月は盆月だった」こともあって、前月比やや減少。総じて景況感に動きは見られない。製菓、製菓用品卸の売上は、前月比やや増加、景況感に動きは感じられないとの声が寄せられた。電化製品の売上は、前月比減少も、前年比概ね横ばいとの声。家事用品の売上は、前月比、前年比ともやや増加、景況感も良好との声。娯楽用品の売上は、「夏休み月の翌月ということで、前月比減少」との声が聞かれた。衣料品販売の前月比は、業者により増減分かれる。前年比は減少～やや減少。土産物の売上は、前月比やや増加との声。松本自動車検査登録事務所管内の自動車新規登録台数は、新車は前月比24%増加、前年比は1%減少。8月の県全体の軽自動車新規登録台数は、新車は、前月比15%減少も、前年比は9%増加。市内料理店の売上は、前年比減少。「9月の売上は例年比で減少。夏場以降の不景気風を象徴している感。客足自体も悪いが、天候にも左右される時期で、週末ごとの悪天候も影響しているように思う」などの声。昼神温泉の売上は、「ナイトツアーも13日までだった上に、毎週末の台風でキャンセル続出」など前年比減少。タクシーの売上は、前月比、前年比ともやや減少との声が寄せられた。

飯伊地区景況DI (本誌調査)



地区内製造業の景況判断指数

飯伊地区景況DI（製造業）



当月の製造業の業況判断指数（DI）は、マイナス19.2で、前月から10.4ポイント上昇。翌月予測もマイナス7.7で、前月から7.1ポイント上昇している。

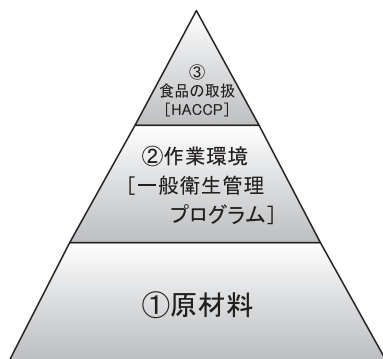
HACCPによる衛生管理の制度化

6月13日、15年ぶりとなる食品衛生法の改正が公布された。この法律では、食をとりまく環境変化や国際化等に対応し、食品の安全を確保するため、広域的な食中毒事案への対策強化、事業者による衛生管理の向上、食品による健康被害情報等の把握や対応を的確に行うとともに、国際整合的な食品用器具等の衛生規制の整備、実態等に応じた営業許可・届出制度や食品リコール情報の報告制度の創設等の措置が講じられている。

「事業者による衛生管理の向上」の観点からは、規模の大小・業種業態を問わず、原料の受け入れから製造、加工、販売に至るまで、フードチェーンにかかわる全事業者を対象に、「HACCP（ハサップ）」に沿った衛生管理が求められることとなった。

ご存知の向きも多いことと思われるが、「HACCP（ハサップ）」に沿った衛生管理の制度化においては、食品等事業者等は「HACCPに基づく衛生管理」が原則として求められる。また、今後省令などで明らかにされる、小規模事業者及び一定の業種については、「HACCPの考え方を取り入れた衛生管理」が求められる。これらの内容は、厚生労働省のホームページなどで公開されている各食品事業者団体が策定する手引書（<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000179028.html>）などに詳しいが、その内容は大きく、①安全で衛生的な原材料を使用すること、②食品を、清潔で衛生的な作業環境（条例で定められている「施設基準」「管理運営基準」がこれに該当する）で取り扱うことにより、危害の汚染防止を確実にすること、③原材料から最終製品に至る各段階で衛生的に食品を取扱い、特に重要な食品の取扱いでは、HACCPを導入することにより、食品中の危害要因を確実に排除低減することに分かれる。

そして、③ HACCPによる衛生管理計画では、(1)ハザード分析（HA）危害の要因分析 (2)重要管理



（資料：長野県食品衛生協会）

点（CCP）の設定 (3)管理基準（CL）許容限界の設定 (4)モニタリング方法の設定 (5)修正処置の設定 (6)検証方法の設定 (7)記録の維持管理、以上の「コーデックス7原則」を含めた12の手順を踏むことが求められる。

HACCP導入のための7原則12手順



コーデックス委員会（FAO/WHO合同食品規格委員会）が、HACCP導入のための原則と手順（7原則12手順）を公表しています。

| | |
|--------------------------|--|
| 手順1 HACCPチームの編成 | HACCPの導入計画作成のために、製品・製造の知識を有する各部門の担当者（または外部の有識者）から成るチームを編成します。 （例）工場長、製造部長、品質管理担当者など |
| 手順2 製品についての記述 | HACCPを導入する製品の特性や、特徴などを明らかにします。 （例）製品の種類、原材料、規格、保存方法 |
| 手順3 意図する用途の特定 | 最終消費者が食べる際に加熱するのかわからないか、長期保存するのかわかななどの製品の用途を確認します。より衛生的な管理が求められる、体の弱い人向けの製品かどうかなども確認します。 |
| 手順4 製造工程一覧図の作成 | 全ての製造工程の作業内容が分かるように、工程一覧図を作成します。 |
| 手順5 製造工程一覧図の現場での確認 | 製造工程一覧図と現場を突き合わせ、製造工程に間違いがあるかどうかや変更されていないかなどを確認し、必要があれば製造工程一覧図を修正します。 |
| 手順6 原則1 危害要因の分析 | 原材料や製造工程で問題になる危害要因（※）を列挙し、それぞれの管理方法を検討します。 （例）微生物の増殖・汚染に対する温度管理など |
| 手順7 原則2 重要管理点（CCP）の決定 | 危害要因の分析（手順6）に基づいて、製品中の危害要因を確実に減少・除去するために特に重要な工程（管理点）を決定します。 （例）加熱工程、殺菌工程、冷却工程など |
| 手順8 原則3 管理基準の設定 | 重要管理点で管理ができていようかどうかを判断するための基準を設定します。 （例）加熱工程における加熱温度・時間など |
| 手順9 原則4 モニタリング方法の設定 | 管理基準が守られているかどうかを継続的に監視・測定する方法を設定します。 （例）加熱工程管理における加熱温度や時間などの測定の方法、測定の頻度、記録の方法など |
| 手順10 原則5 改善措置の設定 | 管理基準とおりに製造されなかった場合、管理基準を満たす製品のみな出荷できるように対応方法（製品の取扱いルールや機械のトラブルを解決する方法）をあらかじめ設定します。 （例）製品の廃棄や再加工、機械の保守・点検・修理など |
| 手順11 原則6 検証方法の設定 | 各手順において決定または設定されたルール・方法が有効に機能しているかを確認します。 （例）温度計の校正内務の記録、改善措置が適切かどうかの確認 |
| 手順12 原則7 文書化及び記録の保持 | 検証するためには記録が必要で、管理手順を文書化した、記録の保存期間などを決定します。 （例）モニタリング記録など |

※危害要因とは、有害な微生物、化学物質や異物（金属）など、食品中に混入したり増殖することで危害（健康への悪影響）が発生するおそれのあるものをいう。

平成29年度食品製造業における HACCP の導入状況実態調査では、食品販売額5,000万円未満では76.8%、5,000円以上1億円未満では、49.3%が「HACCP 導入は未定」ないしは「HACCPによる衛生管理の考え方を良く知らない」と回答しているが、こうした「HACCPに沿った衛生管理」は今後3年程度の間には実施されることとなっている。HACCP 支援法による金融支援を受けることができることも視野に入れ、保健所や飯田食品衛生協会等の公的機関、長野県よろず支援拠点の専門家派遣などで相談されてはいかがでしょうか。

機械加工製造業

電気、精密機械器具の販売は、前月比横ばい～やや増加。一部に受注残高の前年比がやや減少した業者も見られたが、こうした業者でも景況感の悪化には至っていない。一部に先行きは弱含みとの声も。当月、原材料、資材価格に大きな動きがない様子。雇用面で、技能実習生を中心に動きがあるとの声。一部に設備面で積極的な声が聞かれた。

半導体、液晶製造装置向け部品の生産は、前月比、前年比とも減少。「半導体市場は冷え込んでいる」「通常生産は良好も、サーバー向けの設備投資が一服」「FPD関連は調整中」「影響はないが、中国以外のアジア圏向けが停止した」などの声が聞かれ、景況感も悪化した業者が多い。「アルミ、ステンレスなどの原材料や、刃物類の値上げが続いている」など原材料、資材価格が上昇中との声は多い。製品価格は、大きな動きはなかった様子も、「コスト要求は厳しい」との

声も。雇用面では現状維持との声が多いが、一部に「複数名増員。経験者を募集している」などの声。設備面では積極的な声が多い。

産業機器や医療機器向け部品の受注、販売の前月比は、一部に増加との声も聞かれたものの、減少～横ばいとの声が多い。もっとも、先行きの生産増加を見込む声が少ないこともあって、景況感が悪化した業者は少ない。「動きは良くない」「設備の入れ替えに伴って加工できなかった部分もあり、当月の売上は減少」「金型で動きが悪いとの声は多い」「月によってムラが多い」といった声のほか、「新しい増産の話こそないが、ここ数か月間販売高は安定している」「在庫調整は一巡」「大物の加工では納期が掛かり、新規に納入業者を開拓しているところも多い様子」「短納期の案件は多い。協力会社で対応してもらっている」「取引先が増えたため案件の選択肢が増えている」などの声が寄せられた。また、「中国市場の動きが悪い」との声。原材料、資材価格に関し「特殊鋼では価格に動きが出ている」など、やや上昇との声が複数。雇用面では、現状維持との声が多いが、「不足気味。若干名必要」「当面問題ないが、一名増員したい」「当面充足しているが、計画的に増員を考えている」などの声も。設備面でも複数の業者から積極的な声が寄せられた。

建築用金属製品の売上は、前月比やや減少も、「例年この時期から増加する」「秋から年末に向けて多忙となる」など、先行きは生産の増加を見込んでいるとの声が寄せられた。雇用面や設備面で積極的な声。当月、原材料、資材価格や製品価格に大きな動きはなかったという。

自動車向け部品の販売は、前月比やや減少も、前年比増加との声が寄せられた。先行きに大きな動きは見込まれていないという。当月、資材価格に大きな動きはなかったという。

小型電磁機器の販売は、前月比やや減少～横ばい、総じて景況感に動きは見られない。一部に、先行きやや弱含んでいるとの声も。当月、原材料、資材価格が上昇との声。雇用面では現状維持の様子。設備面でも大きな投資は考えていないとの声が多い。

FA関連モーターの販売は、前月比やや減少、景況感も悪化との声。「産業機械向けは受注残を消化しており、減少で推移している」といい、「中国における米中貿易摩擦の影響が、国内販売で出始めており、今後の状況は悪化することが懸念される」など、先行きもこうした傾向が続くことを警戒しているという。

電気、電子製品の生産は、前月比概ね横ばい、景況感横ばいとの声。人員の不足が続いているという。

地場産業

半生菓子、菓子原料等の売上の前月比は、やや減少。一部に「リニューアルした商品があり前年比は増加」との声も聞かれたが、こうした業者でも「菓子はチョコレートなど一部増加しているが、その他は低迷している」などの声が聞かれたほか、「やや悪い」など景況感が悪化した業者も見られた。「運賃、包材値上がり」「製菓原料値上げ」など、原材料、資材価格が上昇基調にある様子。雇用面では現状維持との声が多い。一部に設備面で積極的な声。「HACCPの義務化、働き方改革など法への対応が求められている」など企業活動の様々な面における制度の変化に対応する必要性を指摘する声が寄せられた。

水引製品の販売の前月比は、業者により増減分かれる。減少したとする業者からも「9月を迎え徐々に受注は増えている」などの声が寄せられたほか、「祝儀用品一般は一服したが、正月飾りの注文は順調」などの声が寄せられ、景況感が悪化した業者は見られない。「盆用品の返品作業と正月飾りの検品に追われる」「各社正月飾りの生産が始まる」など繁忙期に入りつつあるが、「為替相場が円安に振れており、輸入資材が多

いと悪影響。これ以上の円安は避けたいところ」「納期が早まる一方、支払期日は変わらない。単価は抑えられる上に、人手不足、生産者不足が重なり、納入業者はますます大変。生産効率を上げるためのアイデアが重要」「効率よく大量に作るか、良い品を多品種作るか分かれるだろうが、消費者が何を求めるのか、先々を見通すことが重要だと感じる」などの声が寄せられた。一部に雇用面で積極的な声。

漬物の販売は、前月比やや減少との声。「漬物の中では、梅干しやキムチの消費が良いと聞く」などの声が寄せられた。「毎年のこととなりつつあるが、今年も天候不順。これが当たり前になってしまうような気がする。原菜の作柄が安定しない」など、近時の気候変動が生産に与える影響を指摘する声が寄せられた。

その他製造業

食品製造業からは、前月比減少も、景況感に大きな動きは感じられないとの声が寄せられた。「新製品を試作中。観光資源を活かした新製品にも挑戦していきたい」という。当月、原材料、資材価格や製品価格に大きな動きはなかった様子。

食品関連包材の生産は、前月比横ばいも、先行きは生産の増加を見込んでいるとの声が寄せられた。原材料、資材価格が今後上昇していくのではないかとという。

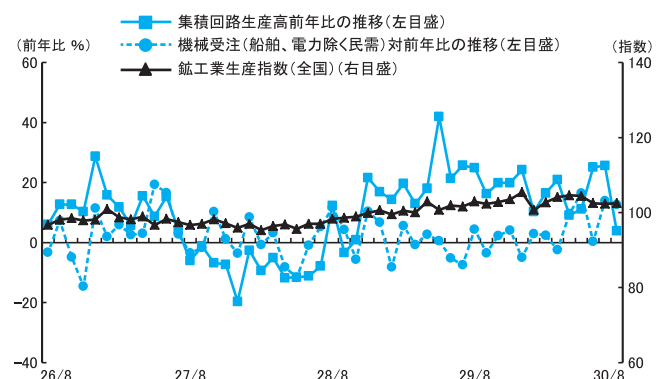
印刷、出版関連の売上は、前月比増加との声が聞かれたものの、「受注件数が下降している。紙ベースの仕事が減る傾向の表れだろうか」との声が聞かれた。当月、原材料、資材価格に大きな動きはなかったものの、「ガソリン代の値上がり、空調費など経費がかさむ」との声。雇用面で「特に営業などで不足。求人継続していく」など、不足感を指摘する声が寄せられた。

衣料品の販売は、前月比、前年比ともやや増加も、受注が減少していることもあって、景況感悪化との声が寄せられた。「台風の影響は大きかった。販売面で、百貨店では従業員が出勤できなかったり、閉店したりした上に、客足も遠のき、売上が大幅に減った。物流面でも、関西空港の閉鎖や千歳空港の混雑で荷物が止まってしまう、店頭に並べられない状況が続いた。通関手続きに至っては一週間以上も停滞して打撃が大きかった」という。当月、原材料、資材価格がやや上昇した一方、製品価格もやや上昇しているという。雇用面の不足が続いている様子。

【企業からのコメント】

- ★災害の影響で納品日がずれてしまい、それに伴って代金の受け取りも遅れるため、資金繰りに影響がある。
- ★高付加価値ビジネスへの展開を図っていく。
- ★このところ、売掛金の支払が、従来の手形から電子債権に移行するケースが急増している。
- ★定量の受注を確保できた。

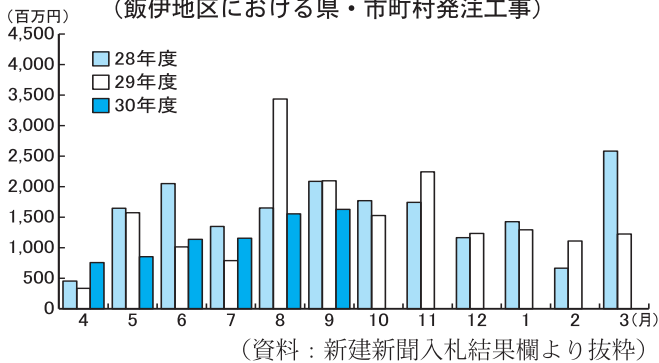
集積回路、機械受注・鋳工業生産指数の推移



建設業

月別入札額

(飯伊地区における県・市町村発注工事)



当月景況DI -7.1 (前月 -28.6)

翌月予測DI -7.7 (前月 0.0)

官公需

当地区における当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、10月15日調査時点で約16.3億円となっている。

当月の調査先企業の受注残高の前月比は、「官庁発注物件の応札者が減少してきており、各社とも受注量は増加している模様」「新規受注量は微増」「追加受注の動きは鈍いが、契約高はやや増加している」などの声も少なからず聞かれたが、「今月の受注は予定通りだったが、受注残高の前年比は今月も減少。公共事業の発注は例年通り低調」「公共工事の発注減少、受注規模の縮小で売上が減少している。これにより生コン、骨材、燃料、自動車をはじめ、あらゆる業者に影響しているのではないか」「災害や東京オリンピックの影響か、当地域は仕事が少ない」「公共工事はない」など、やや減少～横ばいとの声が多い。

先行きに関し「災害関連工事、農業関連工事の発注がある」など当面の増加を見込む声も多いが、こうした業者の中にも先行きの景況感が良好とする声は少なく、却って「平成31年の1～3月期は厳しい」「受注の減少を見込んでいる」など、先行きに関する景況感が悪化した業者も複数見られた。完工高に関し、「猛暑に続く豪雨の影響で遅れが出ているが、ここのところの天候回復で進捗は回復していくと思う」との声。

「鉄骨やボルトなどの資材が品薄で調達しづらい」「燃料等の高騰で、資材価格に加え運送費なども値上がりし利益に影響が出ている」との声。

雇用面で「大工、型枠工、鉄筋工の不足が継続している。また、建設に係るすべての業種で業者の機動力が減退しており、災害等があると対応しづらくなっている」など、高齢化や人員の不足等に伴う影響を指摘する声が寄せられた。

民需

当地区の8月の住宅着工戸数は46戸。前月比77%増加も、前年比は33%減少している。

当月の調査先企業の受注残高は、前月比横ばい～増加。一部に前年比増加との声も。景況感が好転した業者は見られなかったものの、「リフォームや修繕工事は多い」「公共工事はないが、民間工事で受注予定もあり、遊んでいる人はいない」「新築、リフォームとも今のところフル稼働だが、年内一杯続くというわけではない」などの声。こうした中、「各社、土木、建築とも忙しいのでは。地域の職人の数は限られている

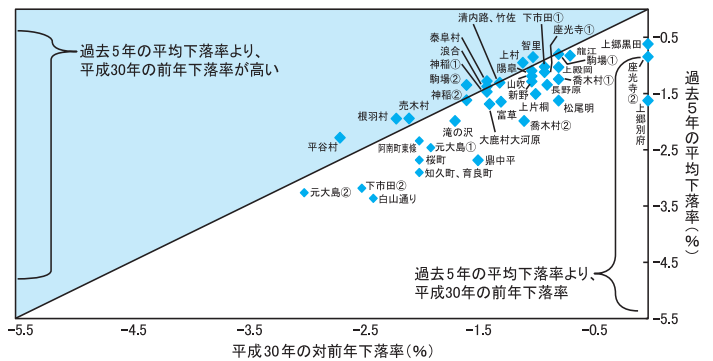
ので、年末に向けての職人の確保が難しい」「人員は不足」などの声が寄せられた。

かつての消費増税前に見られた駆け込み需要について、「今のところ影響は出ていない」という。

平成30年地価調査 飯伊地区の状況

長野県が公表した「平成30年地価調査」によると、当地区では基準地価が昨年より上昇に転じた地点はなかったが、横ばいとなった地点が上郷、座光寺などで8地点あった(昨年6地点)。下記グラフは、過去5年間継続的にデータが取れる41地点について、横軸に平成30年の対前年下落率をとり、縦軸に平成26年から5年間の下落率の平均をとったもので、平成30年の下落率が過去5年間の平均下落率を上回った地点は山間部を中心に8か所となっていた。

飯伊地区の基準地価 下落率の分布



建設資材

生コンの売上の前月比は、地域によって増減分かれる。前年比は微減との声も聞かれたが、やや増加～増加との声が多く、景況感が悪化した業者は見られない。「主な出荷は、リニア関連工事、三遠南信自動車道工事、浄水場・公民館・保育園、護岸・砂防・林道工事に関わるものの他、病院・工場の建築工事もあった」などの声。「リニア関連工事向けは前月より増加」という。台風の多かった当月だが「影響は多少あったが、現場の打設は順調だった」との声が聞かれた。

骨材の売上は、前月比増加も、前年比は減少～微増。「忙しかったという感覚はないが、前月が悪かったことからすれば善戦したといえる」「リニア仮設工事、三遠南信自動車道関連工事、発電所などで全般に少し動きが出てきたのだろうか」などの声が寄せられ、景況感が悪化した業者は見られない。

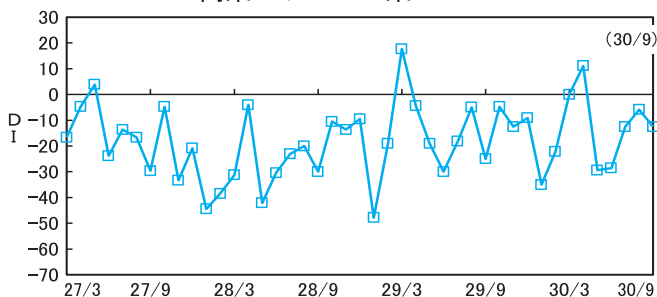
【企業からのコメント】

- ★客先によって仕事量はまちまちだが、8月に比べ繁忙感が出始めている。もっとも景気が上向きと見ることができるか、もう少し様子を見たい。
- ★地域内の大型倒産の影響を懸念している。

住宅建築確認申請受付状況 (※本誌調査による概数)

- 9月 ○飯田建設事務所
 - 新築 13件 (前年 10件)
 - 増築 3件 (前年 4件)
 - 飯田市役所
 - 新築 21件 (前年 34件)
 - 増築 3件 (前年 2件)
- ※指定確認検査機関分を含む

商業・サービス業DI



当月景況DI -12.5 (先月 -5.9)

翌月予測DI -13.3 (先月 -6.7)

商業

食品品の売上は、「前月は盆月だった」こともあって、前月比やや減少。前年比は業者により増減分かれる。総じて景況感に動きは見られない。市街地の大型店舗が閉店した影響があるとの声が聞かれた。「野菜類が安定せず高いまま」「野菜が高い」といった声は多い。一方、売価に関しては「連動できない」という。「今のところ充足。当面採用は見込んでいない」など、雇用面では現状維持の様子。

【青果卸売市場】

野菜は、「雨天の日が多かった上、月初めの台風や北海道の地震の影響もあり、ほぼ8割の品目で昨年より価格高だった。松茸の豊作も重なり、入荷量は2%減の、価格は22%高となった」という。

果実は、「昨年は出荷が遅れていたが、今年は平年並みからやや早めだった。梨やリンゴは台風により落下したもののヤスレの発生も加わり、全体では入荷量20%減、価格は25%高となった」という。

製菓、製菓用品卸の売上は、前月比やや増加、景況感に動きは感じられないとの声が寄せられた。当月、販売価格に大きな動きはなかったという。

電化製品の売上は、前月比減少も、前年比概ね横ばいとの声。「家庭向け、店舗向けのエアコンが前月同様好調。今まで好調だった製造業工場向けの商品は今一つの感。冬物商品の入荷が始まった。今後力を入れていきたい」という。

家事用品の売上は、前月比、前年比ともやや増加、景況感も良好との声。「昨年の当月は、市指定ごみ袋の発売等で多忙だったが、今年は落ち着いた。一昨年と比べると良かった」「暑すぎて蚊も出なかったようで、殺虫剤は9月になるとピタッと売れなくなった」「今後、秋冬物の入荷で多忙になる」などの声が聞かれた。

娯楽用品の売上は、「夏休み月の翌月ということで、前月比減少」との声が聞かれた。景況感に大きな動きは感じられないという。

衣料品販売の前月比は、業者により増減分かれる。前年比は減少～やや減少。こうした業者の中には「昨年はセールがあったため」との声も。仕入価格に関し、「一部メーカーによっては安くなる」との話もあるが、原油価格上昇に伴う素材価格の値上がりもあり、今後の動きを心配しているとの声が寄せられた。また、販売価格に関し前月、前年に比べ若干下降しているとの声も。一部に、雇用面で「検討」との声が聞かれた。

土産物の売上は、前月比やや増加との声。当月も仕入価格が上昇したという。

松本自動車検査登録事務所管内の自動車新規登録台数は、新車は前月比24%増加、前年比は1%減少。中古車は、前月比8%減少、前年比も3%減少。8月の県全体の軽自動車新規登録台数は、新車は、前月比15%

減少も、前年比は9%増加。中古車は、前月比25%減少、前年比も11%減少。

サービス業

市内料理店の売上は、前年比減少。「9月の売上は例年比で減少。夏場以降の不景気風を象徴している感。客足自体も悪いが、天候にも左右される時期で、週末ごとの悪天候も影響しているように思う」「先月は良かったが、9月に入り急に売上が落ちた。天候、台風、地震等、報道ほど景気が良い実感がない」「当店の傾向としては、特にお祝いごとで個人客が増加したが、会社の宴会の比率が低下している。政府の景気の見方とはかなり離れているように感じる」「家族連れが少なかった。同業に流れたのかもしれない」「次月の予約はあり、多少安心できそう」「在庫はできるだけ少なくする」などの声。仕入に関し、「北海道胆振東部地震の影響で一時高騰したのものがある。野菜も高い」という。一方、販売面では、「上げられない。売値を下げたいが、そうもいかない」などの声が寄せられた。

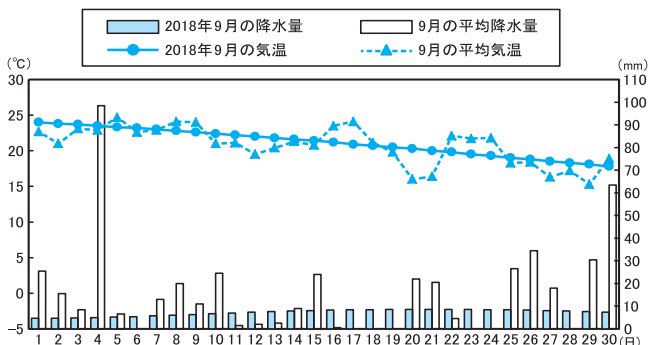
昼神温泉の売上は、前年比減少。一部に前月比も減少との声。「大型台風とナイトツアーが休みだった影響で集客は減少」「ナイトツアーも13日までだった上に、毎週末の台風でキャンセル続出」「独自企画も天候に左右された」などの声が寄せられた。先行きに関し、「以前は10、11月が最高の月だったが、今は変わってきた。10月6日に再開するナイトツアーに望みをかけている」「10月6日から始まるナイトツアーに期待したい」といった声が寄せられた。雇用面で、「人手不足は深刻な問題」「来月は現状維持でスタートするが、ナイトツアーが始まると人手不足になる」などの声。設備面で積極的な声が聞かれた。

タクシーの売上は、前月比、前年比ともやや減少との声。「夜間の需要は依然として停滞気味」など景況感も悪化との声が寄せられた。「市街地の大型店舗の閉鎖に関連し、お客様の流れが大きく変わっていく可能性がある。今後の動向を注視しながら、公共交通事業者の業界として需要に添えていきたい」との声。依然「LPGが上昇基調」という。雇用面で、「募集中。供給側の人員が整っていないために、各社苦労している様子。勤務体系、給料体系を検討していく必要がある」「10月から最低賃金が改定された。これによって、特に拘束時間の長い勤務などで検討していく必要がある」などの声が聞かれた。

【企業からのコメント】

- ★米中貿易摩擦、プラスチック製品の原料値上がり等
の不安要素がある。今後の動向を見極めたい。
- ★古い建物を壊し、福利厚生設備を設置する予定。
- ★同業でもあまり良い話はない。当地域で発生した破産
で不景気感に一層拍車をかけたように思う。
- ★ホームページの刷新に向けた投資をしていきたい。
- ★営業上必要な改修や設備の入れ替えを先行して実施した。

飯田の気温と降水量



リニア岐阜県駅と東濃地域の状況

リニア中央新幹線沿線地域信用金庫との交流として、このほど東濃信用金庫（本店：岐阜県多治見市）を訪問し、情報交換を行いました。

岐阜県内では、いくつかの工区で業者募集が開始されていますが、現に工事が行われているのは日吉トンネル南垣外非常口（瑞浪市）のみ、という状況に変わりありません。岐阜県駅予定地においても目立った動きは見られません。



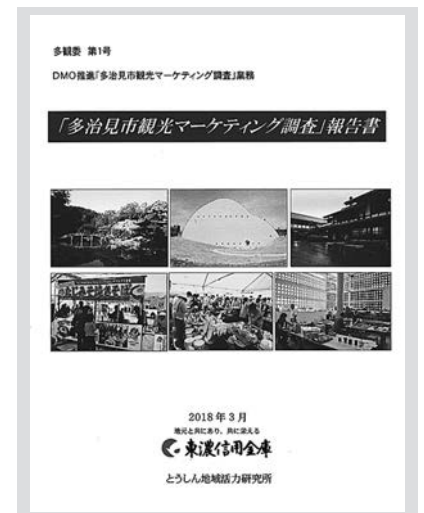
リニア岐阜県駅予定地（中津川市千旦林地区）

1. リニア開通を見据え、観光への対応を進める東美濃地域

東美濃地域では、昨年7月に中部経済連合会と東濃6商工会議所によりツーリズム東美濃協議会を発足しました（No.460 平成29年7月号で既報）。すでに公式ホームページとインスタグラムを立ち上げ、東美濃6市（多治見、中津川、土岐、瑞浪、恵那、可児）の観光資源の発信に取り組んでいます。

また、このほど一社（多治見市観光協会）がDMO候補法人として観光庁に登録されたことを受け、戦略立案プロセスとして現状分析のための「多治見市観光マーケティング調査」を、東濃信用金庫とうしん地域活力研究所が多治見市から受託して実施しました。調査結果を基に、今後SWOT分析、課題抽出、戦略立案、政策実施へと進められることとなっています。

「多治見市観光マーケティング調査報告書」



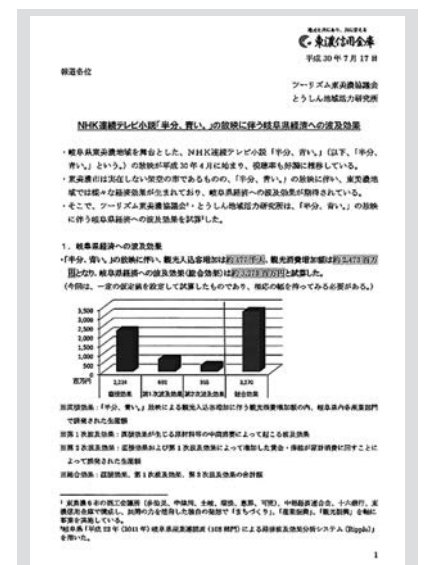
（東濃信用金庫 提供）

2. NHK連続テレビ小説「半分青い。」の岐阜県経済への波及効果は32.7億円と発表

同研究所はツーリズム東美濃協議会とともに、東美濃地域が舞台となったNHK連続テレビ小説「半分青い。」放映について波及効果を試算し、発表しています。それによると、観光入込み客増加や観光消費増加などの直接効果で22.2億円、原材料等の中間需要による第一次波及効果が6.9億円、直接・第一次波及効果により増加した賃金等が家計消費に回ることによる第二次波及効果が3.5億円、これらの合計金額である総合効果は32.7億円となりました。

（東濃信用金庫HP）とうしんについて）とうしん地域活力研究所）RaVo ニュース

「NHK連続テレビ小説『半分青い。』の放映に伴う岐阜県経済への波及効果」



（東濃信用金庫 提供）

3. 瑞浪市日吉南垣外非常口の状況

岐阜県内で唯一の工事現場となっている瑞浪市日吉地区の南垣外非常口を訪ねました。

のどかな街道（県道388号＝旧中山道（中街道））から一步入ると、一変して田園風景の中に非常口掘削工事現場と発生土運搬の巨大なベルトコンベアが目に入ります。掘削現場と発生土処理場が近く（直線距離で約1km）、ダンプによる搬送より効率的との判断によるものと思われます。

住宅が農地の中に点在する洞地形の中をベルトコンベアがうねって山腹を辿り奥山へと向かいます。コンベアに沿った道路を走っていくと、間もなく山間の発生土処理場にたどり着きました。フェンスで囲まれた処理場は複数の沢筋からなる凹地で、発生土が積置きされています。やがてこの一帯が全体的に埋め立てられ、広大な平地が生まれるのではと推察しました。

長野県内では、飯沼北条地区において風越山トンネル掘削工事にシールド工法の採用が説明されています。シールド工法となると、北条上段に設置される立抗から発生土が出されることとなり、住宅密集地の中で発生土をどのように運び出すかが問題になっているようです。対応策として北条地区からの搬出にベルトコンベア導入が検討されているとの情報もあることを念頭に、この巨大コンベアを眺めました。

4. リニア沿線地域金庫連携を更に

当金庫は平成27年度にリニア中央新幹線の開通に伴う諸問題や地域の課題を明確にするため、地域へのアンケート調査のほか関連調査を行い、「リニア中央新幹線開通に係る調査報告書」にまとめ発表いたしました。

その後の工事の進捗に伴う地域の変化や地域の皆様の意識変化を捉えることとし「定点観測」としての第二次調査を平成31年度に予定しています。その中で当金庫の取組みとして掲げている「リニア沿線地域（金庫）の連携」の一環として、東濃信用金庫との共同アンケートなどの調査実施を展望しており、そのための意見交換を行いました。

（飯田信用金庫 地域サポート部 リニア対策課 加藤 修平）



日吉地区南垣外集落 交差点を左折して入ると…



非常口掘削現場（右奥）とベルトコンベアが姿を現す



近寄るとコンベアシステムの巨大さを実感



ベルトコンベアの終着地点、発生土処理場

「消費税増税と軽減税率」の導入に向けて

飯田信用金庫 地域サポート部 企業経営サポート課
中小企業支援アドバイザー 佐々木信高

二度の延期となった消費税の増税が、平成31年10月1日に実施予定となっています。消費税率を10%に引き上げると同時に、食料品や新聞などは軽減税率対象品目となり税率は8%になります。本年10月15日の閣議決定では、税率引き上げに伴う経済的影響を緩和するために、住宅や自動車などの大型耐久消費財の購入を減税や補助等で支援するほか、中小規模の小売店でクレジット払いなどで買い物をした場合、ポイントで還元し需要減を緩和するなどの対応が検討されています（平成30年10月24日現在）。

この制度では、消費税率が8%と10%の複数税率となるために、事業者は「適用税率ごとに区分して記帳するなどの経理（区分経理）」や「適用税率ごとに区分した消費税の計算」などの新たな作業が必要となります。また、複数税率に対応した仕入税額控除の方式として現行の「請求書等保存方式」を維持しつつ、区分経理に対応するため「区分記載請求書等保存方式」を実施した後、平成35年10月1日から「適格請求書等保存方式」（インボイス制度）へ移行するなど事業者の皆さまの準備を考慮して一定の経過措置を設けることとなっています。



■軽減税率制度の実施スケジュール

軽減税率制度は消費税10%へ引上げに合わせて平成31年10月1日に実施されます。また複数税率に対応して仕入れ税額控除の方式として、平成35年10月1日からは「適格請求書等保存方式」（いわゆる「インボイス制度」）が導入されます。

平成31年10月1日

平成35年10月1日

請求書等保存方式

区分記載請求書等保存方式

適格請求書等保存方式

すべての事業者に影響がある

飲食料品や新聞を扱わない事業者には関係ないと思ってしまいがちですが、実際はそうではありません。軽減税率制度は、以下の点ですべての事業者に影響がありますので十分に留意しておきましょう。

- 対象品目の売上がない課税事業者であっても、対象品目の仕入がある場合は、標準税率10%と軽減税率8%とを区分して経理を行う必要があります。
 - ・経理システムの変更、改修等が必要になる可能性があります。
 - ・適用税率ごとに区分した経理ができない中小企業者などに対しては、一定期間、税額計算の特例措置が設けられています。
- 取引先から「軽減税率の対象品目である旨」や「税率ごとに合計した対価の額」を記載した請求書等の発行が要求されることがあります。
- 免税事業者も取引先から「軽減税率の対象品目である旨」や「税率ごとに合計した対価の額」を記載した請求書等を求められることがあります。

このように、消費税の増税に向けて、複数税率対応のレジ導入や受発注システムの改修を導入する等、事業者の金銭負担や事務負担は大きくなると予想されますが、この負担軽減のために国の支援策 **軽減税率対策補助金** がありますので、改めて紹介いたします。

☆レジ導入型補助金（A型）の概要

| | |
|----------|--|
| 概要 | 複数税率に対応するレジの新規導入や、既存レジの複数税率対応のための改修を支援します。（レジには、POS機能のないレジ、モバイルPOSシステム、POSレジシステムなどを含みます） |
| 補助率 | ① 導入費用が3万円未満の機器を1台を導入する場合：3/4 ② 導入費用3万円以上の機器：2/3 ③ タブレット等の汎用機器：1/2 |
| 補助額上限 | レジ1台あたり20万円。さらに、新たに商品マスタの設定や機器設置に費用を要する場合は、1台あたり20万円を加算。複数台を導入する場合は、1事業者あたり200万円を上限 |
| 補助対象 | ・レジ本体 ・レジ付属機能 ・機器設置に要する経費（運搬費含む） ・商品マスタの設定費用 ◎ 具体的な対象機器はホームページで公表 |
| 申請手続き | 基本的には、申請書数枚と証拠書類で申請可能です。メーカー、販売店、ベンダーによる代理申請が可能。 |
| 申請のタイミング | ◎ レジの導入や改修の期限：平成31年9月30日 ◎ 補助金申請書類の提出期限：平成31年12月16日 |

☆受発注システムの改修や導入補助金（B型）の概要

| | |
|----------|---|
| 概要 | 電子的な受発注システム（EDI / EOS等）を利用する事業者が、複数税率に対応するために必要となる機能の改修・入替を支援します。 |
| 補助率 | 2/3 |
| 補助額上限 | 小売事業者等の受発注システムの場合：1,000万円 卸売り事業者等の受発注システムの場合：150万円 発注システム・受注システム両方の場合：1,000万円 |
| 補助対象 | ・電子的受発注データのフォーマットやコード等の改修 ・現在利用している電子的受発注システムから複数税率に対応したシステムへの入替 ・電子的受発注に必須となる商品マスタ、発注、購買管理、受注管理機能のうち、複数税率対応に伴い必要となる改修・入替 |
| 申請支援等 | 専門知識を必要とするシステム改修のため、申請者に代わって、あらかじめ事務局が指定したシステムベンダーなどが、代理申請を行います。 |
| 申請のタイミング | B-I型 （受発注システム指定事業者改修型）は、平成31年6月28日までに補助金申請、平成31年9月30日までに事業完了、平成30年12月16日までに完了届けを提出 B-II型 （受発注システム自己導入型）：平成30年9月30日 補助金申請書類の提出期限：平成31年12月16日 ◎ 交付申請が受理される前に作業着手した場合は補助対象になりません。 |

お問い合わせは、しんきん各支店、又は飯田信用金庫企業経営サポート課（TEL（0265）53-5811）まで。

飯田信用金庫では、2名の専門アドバイザーによる継続的な事業支援を行っています。

今回執筆を担当した当金庫専門アドバイザー 佐々木信高 は、商工会、商工会議所で地元中小企業の支援業務に長く携わった経験を基に、皆様の課題の解決に向けた取組のお手伝いをさせていただきます。

ご用命は、飯田信用金庫 地域サポート部 企業経営サポート課（飯田市本町1-2 飯田信用金庫4階 TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132）まで お気軽にお申し付けください。

主要経済統計

| 項目 年月 | 住宅着工戸数 | | 高速バス乗車人数 | | | | | |
|----------|-----------|--------|----------|-------|---------|-------|---------|-------|
| | 飯伊地区 | | 飯田～新宿 | | 飯田～名古屋 | | 飯田～長野 | |
| | 実数 | 前年比 | 実数 | 前年比 | 実数 | 前年比 | 実数 | 前年比 |
| | 戸 | % | 人 | % | 人 | % | 人 | % |
| 平成24年 | 519 | △ 6.8 | 328,149 | 1.6 | 186,582 | △ 0.2 | 116,485 | △ 1.8 |
| 25 | 737 | 42.0 | 325,892 | △ 0.7 | 190,248 | 2.0 | 113,743 | △ 2.4 |
| 26 | 569 | △ 22.8 | 322,878 | △ 0.9 | 195,359 | 2.7 | 112,889 | △ 0.8 |
| 27 | 563 | △ 1.1 | 329,654 | 2.1 | 203,315 | 4.1 | 124,261 | 10.1 |
| 28 | 634 | 12.6 | 326,157 | △ 1.1 | 208,771 | 2.7 | 115,843 | △ 6.8 |
| 29 | 657 | 11.2 | 327,875 | 0.5 | 218,764 | 4.8 | 115,698 | △ 0.1 |
| 平成29.7 | 53 | △ 8.6 | 26,791 | 1.0 | 18,332 | 4.1 | 9,876 | △ 1.0 |
| 8 | 69 | △ 1.4 | 36,781 | 1.8 | 22,583 | 1.8 | 10,346 | 0.7 |
| 9 | 84 | 7.7 | 27,166 | 0.7 | 18,546 | 6.5 | 9,448 | 0.7 |
| 10 | 63 | 23.5 | 26,902 | △ 4.1 | 18,323 | △ 1.9 | 10,081 | △ 1.9 |
| 11 | 80 | 60.0 | 25,790 | 0.8 | 18,215 | 3.4 | 9,454 | 1.8 |
| 12 | 48 | △ 4.0 | 28,270 | 0.1 | 17,973 | △ 0.6 | 8,761 | 1.8 |
| 平成30.1 | 52 | △ 7.1 | 25,548 | △ 3.5 | 17,511 | 2.6 | 8,370 | △ 2.3 |
| 2 | 54 | 28.6 | 22,162 | △ 1.3 | 16,857 | 1.5 | 8,467 | △ 1.9 |
| 3 | 46 | △ 33.3 | 29,392 | △ 1.8 | 20,443 | 3.9 | 10,045 | △ 1.4 |
| 4 | 71 | 121.9 | 25,759 | 4.2 | 17,961 | 3.8 | 9,472 | △ 4.0 |
| 5 | 62 | 19.2 | 27,676 | △ 3.2 | 18,240 | 0.0 | 10,058 | △ 4.8 |
| 6 | 53 | △ 7.0 | 24,093 | 0.5 | 16,062 | 1.1 | 9,753 | △ 1.6 |
| 7 | 26 | △ 50.9 | 26,163 | △ 2.3 | 17,104 | △ 6.7 | 9,564 | △ 3.2 |
| 8 | 46 | △ 33.3 | 36,722 | △ 0.2 | 22,773 | 0.8 | 10,136 | △ 2.0 |
| 9 | — | — | 27,335 | 0.6 | 18,457 | △ 0.5 | 9,087 | △ 3.8 |
| 資料出所 | 長野県建設部住宅課 | | 信南交通株式会社 | | | | | |

| 項目 年月 | 自動車新規登録台数 (松本登録事務所管内) | | | | 有効求人倍率 | |
|----------|--------------------------|--------|-------|--------|-----------------|------|
| | 新車 | | 中古車 | | 長野県 | 飯田管内 |
| | 実数 | 前年比 | 実数 | 前年比 | 季節調整値(但、年平均は実数) | |
| | 台 | % | 台 | % | 倍 | 倍 |
| 平成24年 | 32,028 | 28.4 | 7,390 | 5.8 | 0.81 | — |
| 25 | 30,532 | △ 4.7 | 7,660 | 3.7 | 0.87 | — |
| 26 | 30,089 | △ 1.5 | 7,058 | △ 7.9 | 1.09 | — |
| 27 | 30,124 | 0.1 | 7,819 | 10.8 | 1.25 | — |
| 28 | 27,751 | △ 7.9 | 7,433 | △ 4.9 | 1.41 | — |
| 29 | 27,349 | △ 1.4 | 7,274 | △ 2.1 | 1.60 | — |
| 平成29.7 | 2,179 | 4.8 | 630 | 10.9 | 1.61 | 1.55 |
| 8 | 1,708 | 0.6 | 560 | 1.6 | 1.62 | 1.50 |
| 9 | 2,639 | 2.9 | 608 | 1.8 | 1.64 | 1.49 |
| 10 | 1,940 | △ 10.7 | 594 | △ 6.3 | 1.65 | 1.50 |
| 11 | 2,083 | 0.4 | 527 | △ 2.0 | 1.67 | 1.44 |
| 12 | 1,999 | △ 4.0 | 593 | 6.3 | 1.67 | 1.73 |
| 平成30.1 | 1,904 | △ 5.4 | 422 | 9.0 | 1.70 | 1.55 |
| 2 | 2,356 | △ 3.5 | 530 | △ 2.2 | 1.65 | 1.79 |
| 3 | 3,854 | △ 4.1 | 811 | △ 8.3 | 1.70 | 1.75 |
| 4 | 1,898 | 1.1 | 628 | △ 12.4 | 1.69 | 1.70 |
| 5 | 1,896 | △ 1.7 | 597 | 6.0 | 1.70 | 1.75 |
| 6 | 2,189 | △ 13.3 | 737 | 10.2 | 1.72 | 1.71 |
| 7 | 2,230 | 2.3 | 617 | △ 2.1 | 1.70 | 1.62 |
| 8 | 2,110 | 23.5 | 642 | 14.6 | 1.72 | — |
| 9 | 2,623 | △ 0.6 | 589 | △ 3.1 | 1.70 | — |
| 資料出所 | 長野運輸支局松本自動車検査登録事務所 | | | | 長野労働局・ハローワーク飯田 | |

※数値は発表者によって予告なく改定されることがあります。

| 項目 年月 | 手形交換高 | | 倒産件数 (負債額1千万円以上) | | 信用保証承諾 (飯田支所管内) | |
|----------|---------|------------|---------------------|------|--------------------|--------|
| | 枚数 | 金額 | 長野県内 | 飯伊地区 | 新規保証 | 前年比 |
| | 枚 | 千円 | 件 | 件 | 件 | % |
| 平成24年 | 65,692 | 86,556,524 | 138 | 17 | 1,913 | △ 10.3 |
| 25 | 60,405 | 81,013,729 | 113 | 8 | 2,018 | 5.5 |
| 26 | 55,798 | 58,747,886 | 97 | 6 | 2,057 | 1.9 |
| 27 | 51,892 | 58,937,709 | 86 | 12 | 2,120 | 3.1 |
| 28 | 47,284 | 53,411,735 | 88 | 8 | 2,004 | △ 5.5 |
| 29 | 44,601 | 56,085,863 | 81 | 10 | 1,914 | △ 4.5 |
| 平成29.7 | 3,702 | 4,130,157 | 7 | 0 | 148 | △ 18.7 |
| 8 | 3,658 | 4,763,709 | 5 | 0 | 167 | 12.1 |
| 9 | 3,123 | 4,551,456 | 6 | 1 | 179 | 1.7 |
| 10 | 4,055 | 4,483,553 | 7 | 1 | 142 | △ 3.4 |
| 11 | 3,500 | 4,344,046 | 4 | 0 | 142 | △ 14.5 |
| 12 | 3,536 | 4,547,597 | 6 | 0 | 186 | △ 9.7 |
| 平成30.1 | 3,893 | 5,249,904 | 8 | 1 | 134 | 15.5 |
| 2 | 3,528 | 4,262,385 | 8 | 0 | 159 | 0.0 |
| 3 | 3,186 | 4,515,904 | 11 | 3 | 207 | △ 22.2 |
| 4 | 3,338 | 4,505,883 | 5 | 1 | 121 | △ 4.7 |
| 5 | 3,955 | 5,306,227 | 5 | 2 | 183 | 50.0 |
| 6 | 2,907 | 4,598,402 | 9 | 0 | 149 | △ 6.9 |
| 7 | 3,864 | 4,533,688 | 10 | 1 | 145 | △ 2.0 |
| 8 | 3,455 | 4,778,765 | 6 | 1 | 147 | △ 12.0 |
| 9 | 2,790 | 4,207,557 | 8 | 2 | 148 | △ 17.3 |
| 資料出所 | 飯田手形交換所 | | 南信州地域振興局商工観光課 | | 長野県信用保証協会飯田支店 | |

| 項目 年月 | 中央道利用台数 (インターチェンジ出入合計) | | | | | | | |
|----------|-----------------------------|-------|-----------|-------|---------|--------|-----------|-------|
| | 飯田 I C | | 松川 I C | | 園原 I C | | 山本 I C | |
| | 実数 | 前年比 | 実数 | 前年比 | 実数 | 前年比 | 実数 | 前年比 |
| | 台 | % | 台 | % | 台 | % | 台 | % |
| 平成24年 | 2,933,104 | 0.5 | 1,913,719 | 3.4 | 376,518 | 1.2 | 1,010,571 | 6.3 |
| 25 | 2,970,606 | 1.3 | 1,939,863 | 1.4 | 417,360 | 10.8 | 1,070,386 | 5.9 |
| 26 | 2,782,563 | △ 6.3 | 1,835,138 | △ 5.4 | 364,566 | △ 12.6 | 979,398 | △ 8.5 |
| 27 | 2,780,683 | △ 0.1 | 1,821,617 | △ 0.7 | 435,939 | 19.6 | 1,047,675 | 7.0 |
| 28 | 2,755,469 | △ 0.9 | 1,819,412 | △ 0.1 | 375,892 | △ 13.8 | 1,022,578 | △ 2.4 |
| 29 | 2,759,316 | 0.1 | 1,865,085 | 2.5 | 368,243 | △ 2.0 | 1,018,661 | △ 0.4 |
| 平成29.7 | 238,975 | 0.7 | 161,110 | 3.4 | 28,150 | △ 2.7 | 86,946 | △ 0.6 |
| 8 | 257,394 | 0.0 | 173,967 | 3.2 | 40,285 | △ 1.7 | 114,513 | 2.2 |
| 9 | 232,110 | 1.2 | 163,879 | 3.6 | 30,041 | 5.8 | 88,346 | 5.4 |
| 10 | 238,349 | △ 3.6 | 169,371 | △ 1.6 | 29,164 | △ 21.3 | 89,392 | △ 8.6 |
| 11 | 244,783 | 1.1 | 183,681 | 1.5 | 33,614 | 2.6 | 95,565 | 1.5 |
| 12 | 227,227 | △ 0.6 | 155,629 | 0.1 | 24,546 | △ 0.1 | 76,161 | △ 1.5 |
| 平成30.1 | 206,724 | 0.4 | 134,680 | 3.5 | 26,534 | △ 1.8 | 67,166 | △ 2.2 |
| 2 | 194,834 | 1.7 | 128,291 | 3.6 | 25,793 | 1.7 | 63,376 | △ 1.9 |
| 3 | 234,949 | △ 0.1 | 152,182 | 1.5 | 28,439 | 3.2 | 79,385 | △ 1.5 |
| 4 | 225,070 | 1.1 | 145,746 | 0.4 | 57,529 | 61.5 | 91,847 | 10.4 |
| 5 | 236,646 | △ 1.2 | 154,355 | △ 1.6 | 39,871 | △ 13.2 | 87,439 | △ 8.0 |
| 6 | 222,252 | △ 1.5 | 150,672 | △ 0.6 | 32,576 | 55.4 | 75,205 | △ 0.6 |
| 7 | 232,347 | △ 2.8 | 159,791 | △ 0.8 | 34,045 | 20.9 | 89,874 | 3.4 |
| 8 | 260,148 | 1.1 | 173,114 | △ 0.5 | 42,127 | 4.6 | 112,753 | △ 1.5 |
| 9 | 230,249 | △ 0.8 | 160,382 | △ 2.1 | 27,490 | △ 8.5 | 84,642 | △ 4.2 |
| 資料出所 | 中日本高速道路(株)名古屋支社飯田保全サービスセンター | | | | | | | |